



今月のFujimist

守山 義一 さん
(山室湧水路の清流保全プロジェクト代表)

取材 シティプロモーション課 ☎049-256-9535

生きものにも子どもにもいい環境を

「豊かな自然が残る富士見市が心地よかった」と語るのは、市の自然を次世代に残すため「山室湧水路の清流保全プロジェクト」を立ち上げ、埼玉県生態系保護指導員マスターとして環境保全活動に取り組む市内在住の守山義一さんだ。

活動を始めたきっかけは、定年間近に環境保全活動をしている知人から「生態系について勉強してみないか」と声をかけられたこと。ハイキングなど自然に触れることは好きだったものの、環境について学んだことはなかったことから3年かけて環境について学んだ。

主な活動は山室湧水路のゴミ拾いや生きものの調査、環境・生態系・防災などに関するニュースの発行で、「山室湧水路は湧水が水源になっていて、水がきれいなことから多くの生きものが住んでいる。この生きものを見るために子どもたちが川に入るときにけがをしないように、川の生きものにも子どもたちにもいい環境を残していきたい」と15年前から川のゴミ拾いを継続している。

富士見市の豊かな環境は「市民の財産」

これまでに富士見ふるさと祭りへの出展や勝瀬中学校との連携などを通じて、多くの子どもたちに川の生きものに関する生態系や市の環境について伝えてきた。その原動力は、“子どもたちが新しい発見や気づきを得た時の瞳の輝き”だと言う。「生きものに関する質問を子どもたちに投げかけること、子どもたちが生きものを観察し、触れる体験を繰り返すことで深く物を見る力や発見する力が養われる」と語る守山さんは、子どもが小さいころから自然環境に触れる機会を多く作れるよう活動を続けている。

「家庭の中で『今日、何か生きものを見た?』などの質問を子どもに投げかけ、家族で話題にしてほしい。そうすることで生活する地域のさまざまなことに気づき、自然について見直すきっかけになる。富士見市の環境を通じて富士見市に暮らしてよかったと思ってくれる人が一人でも多くなることを目指している」と語る目は未来に残る豊かな自然を見据え、富士見市の豊かな環境を次世代へとつなぐため、守山さんの環境保全活動はこれからも続いていく。

■市公式
ホームページ



■ SNS



LINE
Facebook
X(旧Twitter)
Instagram
YouTube



【カタログポケット】広報『富士見』を多言語で



【マチイロ】広報『富士見』をスマートフォンで



【テレ玉データ放送】テレ玉(地デジ3ch)視聴中にdボタンで市の情報を視聴



Fujimist募集

市内在住、富士見市出身の方などで活躍されている方を募集しています。自薦・他薦は問いません。



みんな笑顔☆ふじみ

富士見市

☎ 049-251-2711(代)

FAX 049-254-2000

〒354-8511

富士見市大字鶴馬1800-1



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



富士見市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。